



「見たり、聞いたり、探ったり」No.275

通算 No.426

青 木 行 雄

2022年（令和4）

国内10大ニュースを取り上げて見た

3年も続く新型コロナ禍の中8波まで来て、7波8月の中旬に1日最多の26万人、12月1日には国内でコロナによる死者数が合計5万人を超えた。2月24日にロシアがウクライナに侵攻して早1年、世界中が不安と物価高にみまわれる中、凶弾に倒れた安倍元首相や北海道の観光船事故などつらいニュースが続いた2022年（令和4）であった。一方で「金」に沸いた冬季五輪、東北歓喜高校野球の甲子園、大記録、プロ野球の村上宗隆の本塁打56本、日本サッカー快進撃の残る中1年を振り返って見た。

月別主な出来事を先に記した。

2022年（令和4）

- 1月1日 天皇、皇后両陛下の長女愛子さまが成年皇族として「新年祝賀の儀」に初出席。
- 9日 新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置を3県に適用。その後、30都道府県以上に拡大した。
- 11日 体操の内村航平が現役引退を発表。
- 21日 建設受注統計不正で国土交通省が事務次官ら10人の処分発表。
- 26日 大学入学共通テストの問題漏洩が発覚。

- 2月1日 作家で元東京都知事の石原慎太郎氏が89歳で死去。
- 4日 北京冬季五輪開幕。日本は史上最多のメダル18個を獲得。
- 12日 将棋の藤井聡太棋聖が史上4人目の5冠を最年少で達成。
- 24日 ロシアがウクライナに侵攻し、世界を震撼。

- 3月4日 北京冬季パラリンピック開幕。日本はメ



コロナの感染者、1月22日1日の感染者数、更新した県が日増に増加した



ウクライナの戦争風景だが、これにより、日本も物価高の打撃を受け世界中が影響

ダル7個。

- 16日 福島・宮城両県で震度6強。走行中の東北新幹線が脱線。
- 23日 ウクライナのゼレンスキー大統領が国会でオンライン演説。
- 27日 米アカデミー賞に日本映画「ドライブ・マイ・カー」が入賞。

4月1日 成人年齢を18歳に引き下げる改正民法が施行。

- 5日 ウクライナ避難民20人が政府専用機で来日。
- 8日 外務省が駐日ロシア大使館員ら8人に国外退去処分。
- 10日 プロ野球ロッテ佐々木朗希が史上最年少で完全試合達成。
- 23日 北海道・知床半島沖で観光船沈没、26人が死亡、行方不明発生。
- 29日 観光船水深120メートルの海底で発見。

5月11日 経済安全保障推進法が成立。

- 15日 沖縄復帰50年。東京都と沖縄県で記念式典。
- 23日 岸田文雄首相と来日したバイデン米大統領が都内で会談。
- 23日 岸田首相がG7サミットを来年広島市で開くと表明。
- 28日 過激派・国際テロ組織「日本赤軍」の重信房子元最高幹部(76)が懲役20年の刑を終え出所。

6月3日 2021年に生まれた日本人の子どもは81万1604人で最少を更新した。

- 9日 国連安保理非常任理事国に日本選出。史上最多の12回目。
- 10日 海外観光客の受入れが団体ツアー限定で解禁。
- 16日 将棋の羽生善治九段(51)が史上初の通算(公式戦)1500勝達成。
- 19日 石川県の能登地方を震源とする地震が発生。同県珠洲市で震度6弱を観測。
- 21日 東京五輪・パラリンピックの開催経費は1兆4233億円。組織委員会が報告。
- 25日 各地で記録的な猛暑。群馬・伊勢崎で40.2度を観測。6月の40度超えは初めて。

7月2日 携帯電話大手KDDIで、全国的に大規模な通信障害が発生。

- 7日 新型コロナ感染状況について「第7波」の可能性指摘。
- 8日 安倍晋三元首相が参院選応援演説中に銃撃されて死去。
- 10日 参院選で自民党大勝。125議席の過半数を単独確保。
- 12日 安倍元首相の葬儀が家族葬として都内で営まれ、約1千人が参列。
- 13日 東電株主代表訴訟で旧経営陣4人に13兆円超の賠償命令。
- 13日 男女平等の達成度ランキングで、日本は主要先進国で最下位の116位に。



7月8日安倍元首相を銃撃した犯人逮捕の様子

- 14日 安倍元首相の「国葬」を今秋に行うと岸田首相が表明。
- 14日 岸田首相、冬に原発最大9基を稼働させる方針を表明。
- 19日 フィギュアスケートの羽生結弦が競技引退を表明。
- 23日 新型コロナの1日あたりの国内新規感染者が初めて20万人を超えた。
- 24日 大相撲名古屋場所で平幕「逸ノ城」が初勝。コロナ禍で力士の休場が相次いだ。
- 27日 WHOが、直近1週間の新型コロナ感染者は日本が世界最多と発表。



7月21日全国で18万6246人となる。35都府県が過去最多となった

- 8月2日 プロ野球・ヤクルトの村上宗隆が日本史上初となる5打席連続本塁打を達成。
- 9日 政府、日本の人口が13年連続で減少したと公表。
- 10日 第2次岸田改造内閣が発足。
- 10日 大リーグで大谷翔平が1シーズンで2桁勝利2桁本塁打達成、104年ぶり。
- 17日 東京五輪汚職で大会組織員会の高橋治之元理事ら逮捕。
- 19日 1日あたりコロナ感染者が過去最多の26万人超す。
- 21日 岸田首相が新型コロナに感染。アフリカ外遊が中止となる。
- 24日 岸田首相、次世代原発の新設方針を提示。
- 25日 安倍元首相の事件受け、警察庁長官が辞任表明。



8月18日全国の感染者255,534人となり、1日感染者数世界1となる

- 9月7日 コロナ感染者の療養期間を7日に短縮。
- 7日 新型コロナの水際対策が緩和され、1日の入国者数の上限が2万人から5万人に。
- 8日 自民党、179人が旧統一教会と接点があったと公表。
- 16日 全国の100歳以上の高齢者が初めて9万人を超えたと厚労省が発表。
- 22日 政府・日銀、24年ぶりにドル売り円買いの市場介入。
- 25日 大相撲秋場所で37歳10ヶ月の「玉鷲」が優勝。年6場所制導入以降で最年長の力士。
- 27日 安倍元首相の国葬儀(国葬)。国内外の関係者約4,200人が参列。
- 30日 落語家の三遊亭円楽さん死去72歳。

- 10月3日 プロ野球ヤクルト「村上宗隆」が最年少セ・リーグ三冠王。

- 11日 新型コロナ水際対策緩和、全国旅行支援が開始。
- 12日 小型固体燃料ロケット「イプシロン」6号機打ち上げ失敗。
- 20日 円相場が約32年ぶりに一時1ドル150円台に下落した。
- 22日 天皇陛下が即位後初めて沖縄県を訪問し、沖縄戦の遺族らと対面した。
- 24日 山際大志郎経済再生相が辞任。旧統一教会との関わりが次々と表面化していた。
- 28日 「王将」の社長射殺事件で容疑者逮捕。平成25年の事件(10年前)。
- 30日 プロ野球のオリックスが26年ぶりの日本一。日本シリーズでヤクルトを下す。



安倍元首相の国葬風景。館内4200人が参列。一般参加、25,000人以上

- 11月 5日 サッカーJ1で横浜F・マリノスが3年ぶり5度目の優勝。川崎の3連覇阻む。
- 6日 全日本大学駅伝で駒大が大会新記録で優勝。史上初となる3度目の3連覇を達成。
- 8日 皆既月食と天王星食のダブル食が442年ぶりに見られた。次は322年後という。
- 9日 東京五輪汚職で大会組織委の高橋元理事を4回目の起訴。賄賂額は計約2億円に。
- 11日 死刑執行業務を「地味」と発言した葉梨康弘法相が更迭。
- 15日 世界の人口が国連推計で80億人に到達。
- 18日 衆院選挙区を「10増10減」する改正公職選挙法成立。
- 20日 政治資金問題で寺田稔総務相が更迭。
- 22日 文部科学省が旧統一教会に宗教法人法上の「質問権」初行使。
- 22日 厚生労働省がコロナの飲み薬「ゾコバ」緊急承認。
- 23日 サッカーW杯で日本がドイツに勝利。優勝経験国に勝つのは初。
- 28日 岸田首相が防衛費など関連経費を2027年度にGDP比2%にするよう指示。
- 30日 民俗芸能「風流踊」の無形文化遺産登録が決定。
- 12月 1日 新型コロナに感染し、国内で亡くなった人の累計が5万人を超えた。
- 2日 サッカーW杯で日本がスペインを破り、ベスト16になる。
- 12日 2022年の世相を表す漢字は「戦」。
- 13日 ボクシング井上尚弥が日本人初の主要4団体王座統一。
- 16日 政府が新たな「安保3文書」を閣議決定。
- 20日 日銀が金融緩和策を修正。長期金利の上限を「0.5%」程度へ引き上げ。
- 21日 東京五輪、パラリンピックの経費が約1.7兆円に膨らんだと会計検査院が報告。
- 27日 岸田首相は政治資金問題が指摘された秋葉賢也復興相を事実上、更迭した。

2022年 国内10大ニュース「サンケイ新聞が選んだ10大ニュース」

NO. 1 「安倍元首相、銃撃され死亡」

参院選開票を2日後に控えた7月8日午前、奈良市西大寺東町の近鉄大和西大寺駅前で街頭演説していた自民党の安倍晋三元首相(67)が銃撃された。緊急搬送されたが同日午後、死亡が確認された。

安倍氏の葬儀は国葬として9月27日に東京・北の丸公園の日本武道館で営まれた。首相経験者の国葬は戦後2例目で、昭和42年の吉田茂元首相以来55年ぶり。国内外から計約4200人が参列。2万5000人以上が一般献花されたという。私もその1人として参列し、4時間程歩いた。

NO. 2 「安保3文書「反撃能力」明記」

政府は12月16日、外交・防衛の基本方針を示す国家安全保障戦略など新たな「安保3文書」を閣議決定した。敵ミサイル拠点などへの打撃力を持つことで攻撃を躊躇^{ちゅうちょ}させる「反撃能力」の保有を明記。令和5年度から5年間の防衛力整備経費を約43兆円とし、インフラ整備など防衛力を補完する予算を含めて9年度までに対国内総生産(GDP)比2%にする。安全保障政策は大きく転換する。

NO. 3 「五輪汚職で元理事ら逮捕」

東京五輪・パラリンピックのスポンサー企業の選定などに絡み賄賂を受け取ったとして、東京地検特捜部が8月以降、受託収賄容疑で大会組織委員会元理事の高橋治之^{はるゆき}被告を4回逮捕、起訴。認定された賄賂額は5ルートで総額約1億9800万円に上った。その後、大会運営を担った広告大手「電通」などが絡む談合疑惑も発覚、特捜部と公正取引委員会が独占禁止法違反容疑で捜査している。

NO. 4 「円安150円突破・物価高」

米連邦準備制度理事会(FRB)は大幅な利上げ、日本銀行は大規模な金融緩和と金融政策の方向性の違いから、円安が進行、電気代や食料品の値上げラッシュが起きた。急激な円安に歯止めをかけようと、政府・日銀は9月下旬、約24年ぶりに円買いドル売りの為替介入を実施。ただ、その後も流れは変わらず、10月下旬には一時、1ドル=151円台後半と約32年ぶりの円安水準をつけた。

NO. 5 「知床観光船沈没事故」

北海道・知床半島沖で4月23日、観光船「KAZU・I(カズ・ワン)」が沈没し、乗客乗員26人が死亡・行方不明に。船首側甲板のハッチと客室前面の割れた窓から海水が流入したことが原因とみられている。荒天予報の中での出航判断など、運行会社の杜撰^{ずさん}な安全管理体制が発覚、国の監査・検査の不備も判明した。第1管区海上保安本部が業務上過失致死容疑での立件も視野に捜査している。

NO. 6 「エネ政策転換、原発活用」

岸田文雄首相は8月24日のGX(グリーン・トランスフォーメーション)実行会議で、将来的な電力の安定供給に向け、次世代の革新的原子炉(革新炉)の開発・建設に向けた検討を指示した。原発の新增設やリプレース(建て替え)は想定しないとした従来のエネルギー政策の基本方針を転換した。来夏以降、追加で東日本を含む7基の原発を順次再稼働させる方針も表明した。

NO. 7 「旧統一教会問題 救済法が成立」

文部科学省は11月22日、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)に宗教法人法に基づく質問権を行使した。

平成8年施行の法改正で盛り込まれてから初の行使。また、悪質な寄付勧誘の規制を柱とする被害者救済法が12月10日の参院本会議で可決、成立した。寄付勧誘時の法人や団体の配慮義務を定め、罰則付きの禁止行為を規定。子や配偶者が本人に代わって寄付を取り戻しやすくする。

NO. 8 「サッカーW杯 日本代表16強」

サッカーのワールドカップ(W杯)カタール大会で日本代表が16強入りを果たした。日本は1次リーグでW杯優勝経験のある強豪ドイツ、スペインに逆転勝ちし、苦戦が予想されたE組を1位で突破。初めて2大会連続で決勝トーナメントに進んだ。しかし、1回戦で前回準優勝のクロアチアに1-1からのPK戦で敗れ、目標だった「8強以上」は次回2026年大会以降に持ち越された。

NO. 9 「成人年齢18歳に」

改正民法が4月1日に施行された。成人年齢が18歳に引き下げられ、18、19歳が大人の仲間入りをした。成人の定義が見直されるのは約140年ぶり。親の同意なくさまざまな契約を結ぶことができ、活動の幅が広がる。また、改正少年法も施行され、犯罪を起こした18、19歳は成人でも少年でもない「特定少年」として扱われる。禁じられてきた実名報道が、起訴後に可能になる。

NO. 10 「村上56本塁打・三冠王」

プロ野球ヤクルトの村上宗隆内野手(22)が日本選手歴代最多の56本塁打、打率3割1分8厘、歴代11位タイの134打点で史上最年少の三冠王に輝き、セ・リーグ2連覇に大きく貢献した。また、ロッテの佐々木朗希投手(21)は4月10日のオリックス戦で、28年ぶり16人目となる完全試合を史上最年少で達成。プロ野球記録を64年ぶりに更新する13者連続奪三振もマークした。

10大ニュース内には入れられなかった番外編

※藤井聡太棋聖、最年少で5冠達成

※王将社長射殺事件で10年目に逮捕

※北京五輪、冬季最多メダル18個

※ボクシング井上、4団体統一王者に

※コロナ第7波で過去最多の感染者

新型コロナの流行は3年目を迎え、7月以降の第7波ではオミクロン株による感染が拡大、全国1日当たりの新規感染者は8月中旬に過去最多の26万人を超え、亡くなる高齢者も急増した。そして12月には第8波に突入、インフルエンザとの同時流行が懸念される。

2023年1月22日 記

参考資料

サンケイ新聞

朝日新聞

NHKテレビ

日本テレビ